

令和7年度進行管理・評価シート
水戸市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和8年3月26日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 偕楽園公園整備事業	4
3 保和苑整備事業	5
4 千波公園整備事業	6
5 都市景観形成助成事業	7
6 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	8
7 三の丸地区周辺景観整備事業	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	10
2 民俗芸能実演支援事業	11
3 文化財・まちなみ巡り事業	12
4 観光周遊バス運行事業	13
5 歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	14
6 歴史的風致情報発信推進事業	15
7 文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進	16
8 文化財の修理、整備、防災事業の推進	17
9 文化財に関する普及・啓発の推進	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1	19~20
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 水戸市への観光客数の推移	21
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ：計画の推進及び変更に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会：計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会：計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「水戸市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を行った。なお、「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」及び「水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ」については、開催に要する議題がなかったことから今年度は開催しなかった。 【各会議の実施回数】水戸市歴史的風致維持向上計画協議会（1回）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (会長:学識経験者、委員:県関係課長及び市関係部長) ○第1回：令和7年5月29日開催 ・令和6年度進行管理・評価シートについて ・水戸市文化財保存活用地域計画(素案)について			
			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
水戸市景観計画の活用		水戸市都市計画課景観室	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び景観法により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(令和7年度届出件数:10件(重点区域内)、75件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館・水戸城跡周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った。(令和7年度許可件数:15件(特別規制地区内)669件(水戸市全域)) 平成31年度には、弘道館・水戸城跡周辺地区で区域を拡大した。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	水戸市景観計画ほか景観関係施策に基づき、歴史的資源や自然景観の保全を引き続き実施する。また、令和7年度に策定した景観計画(第2次)において、より実効性のある景観誘導を図るため、事前協議及び完了届の手続きを追加した。		
状況を示す写真や資料等			
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている。(対象区域:水戸市全域)。			
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他			
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す。(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。			
④景観重要建造物の指定 良好な景観の形成に重要な建造物を、景観法に基づき指定し、地域の個性ある景観づくりの核として、その維持・保全及び継承を図ることを目指す。			

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
弘道館公園整備事業	茨城県都市整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和10年度	
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業	
計画に記載している内容	「旧弘道館」保存活用計画書」に基づき、段階的に整備を進めていく。 ①公開方法に関する整備 ②情報提供に関する整備 ③公園施設の活用に関する整備 ④藩校時代の諸施設の再現検討	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
保存活用計画に基づき、令和7年度は次に掲げる事業を実施した。 ①トイレアプローチ園路(バリアフリー)の整備 ②屋外用車いすの拡充 ③バリアフリーマップの作成・HP公開		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



①トイレアプローチ園路の整備



②屋外用車いすの拡充



③バリアフリーマップの作成・HP公開

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
借楽園公園整備事業		茨城県都市整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	「借楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、段階的な整備を進めていく。 ①借楽園の文化財価値の向上:好文亭の耐震化など歴史的建造物の整備、梅の後継木育成、景観整備、本来の歩行導線整備など ②利用者の満足度向上:ユニバーサルデザインをふまえた公開ルートの整備、わかりやすい解説板整備、トイレ洋式化、南崖のライトアップなど		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
借楽園の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和7年度は次に掲げる事業を実施した。 ①歴史建造物の改修(芝前門) ②梅林への後継木の補植 ③バリアフリースロープの改修 ④屋外用車いすの拡充			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">   ①歴史的建造物の改修(芝前門) (上:改修前、下:改修後) </div> <div style="text-align: center;">  ②梅林への後継木の補植 </div> <div style="text-align: center;">  ③バリアフリースロープの改修 </div> </div>			

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
保和苑整備事業	水戸市公園緑地課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めていく。
 ①西側の修景施設整備:植栽と散策路、及び休憩施設の配置
 ②園路の整備:バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、和風庭園にふさわしい園路整備工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致との調和を図りつつ園路整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上に努める。

状況を示す写真や資料等



施工前

完成



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
千波公園整備事業		水戸市公園緑地課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	官民連携型賑わい拠点創出事業(千波公園:個別補助)		
計画に記載している内容	偕楽園や隣接する桜川緑地、沢渡川緑地、紀州堀緑地、逆川緑地を含めた大規模公園として整備を行い、景観形成を図る。 ①千波公園の各広場等の整備②千波公園拡張部の整備③千波湖の水質浄化		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
千波公園(黄門像広場周辺地区)における拠点整備事業について、事業者公募を行い、令和4年11月に大和リース株式会社を代表企業とする企業グループ(構成企業:株式会社アダストリア、株式会社横須賀満夫建築設計事務所)を事業者決定し、その後水戸市と事業者の間で協定を締結し、民間活力を活用し、収益施設である公募対象公園施設及び園路、広場などの特定公園施設の整備を進めてきた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		パークPFI事業の開業後の千波公園においては、今後さらなる賑わいの創出に向け、歴史的風致との調和を図りつつ園内施設の充実や千波湖の水質改善に努めていく。	
状況を示す写真や資料等			
完成予想図 (パース)			
施工状況写真			

千波公園(黄門像広場周辺地区) 拠点整備事業
鳥瞰イメージ
大和リース・アダストリアグループ
作成 株式会社横須賀満夫建築設計事務所

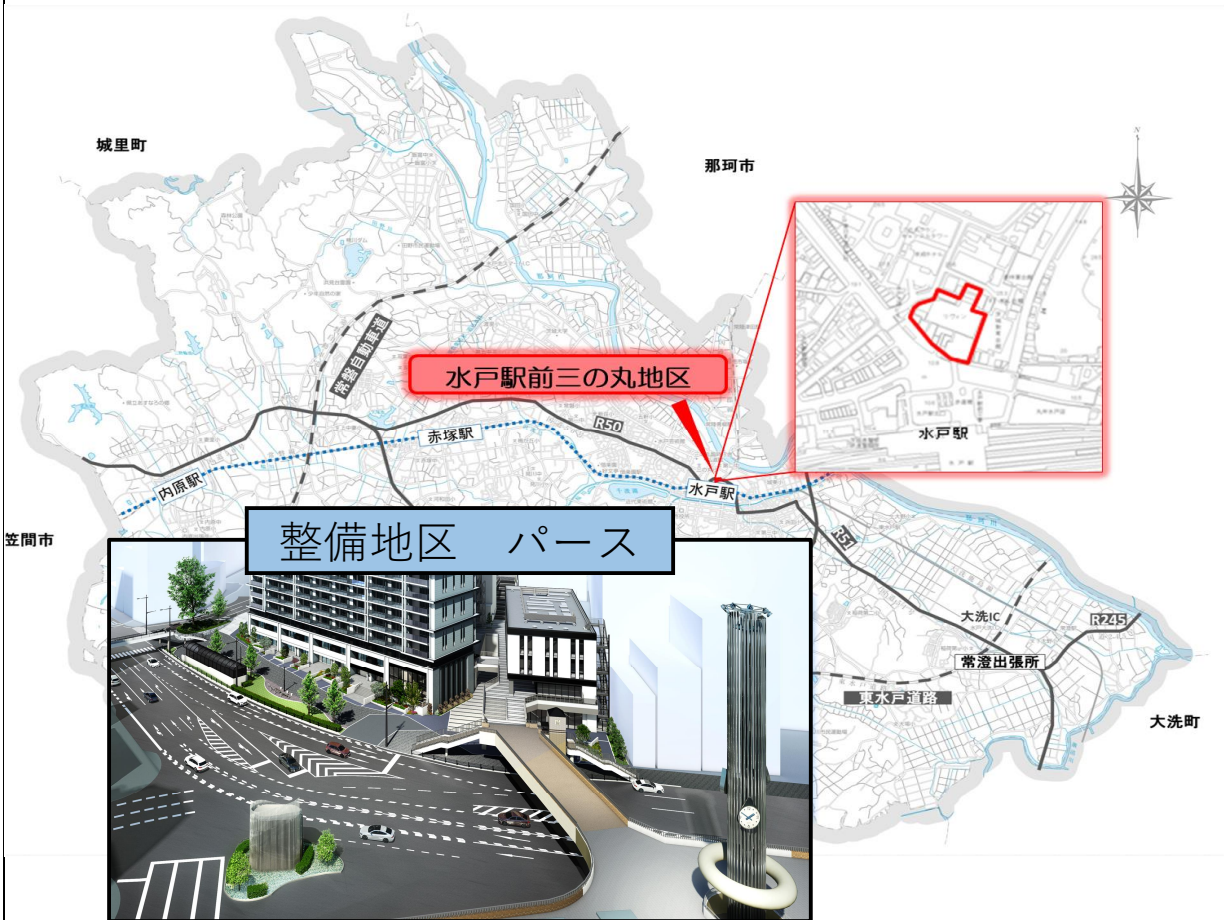
評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
都市景観形成助成事業		水戸市都市計画課景観室	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成15年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	都市景観重点地区(備前堀沿道地区／弘道館・水戸城跡周辺地区)における、優れた都市景観づくりに寄与する下記のような行為に対して助成金を交付し、地区の歴史性などと調和した景観づくりを推進していく。 ①建築物等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち外観に係るもの ②門、塀又は擁壁、石垣等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち、外構に係るもの ③オープンスペースの整備に係るもの ④建築等の外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更に係るもの 等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に水戸市都市景観形成補助金を改定し、弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象地域とした。 令和7年度実績 ○備前堀沿道地区(交付0件) ○弘道館・水戸城跡周辺地区(協議2件、交付0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		備前堀沿道地区ではこれまで建造物14件に対し補助金を交付した実績があり、着実に進捗している。弘道館・水戸城跡周辺地区においても、これまで12件に対し補助金を交付した。今後も、制度の活用を積極的に働きかけ、歴史的景観を活かした都市景観の形成や維持向上に努める。	
状況を示す写真や資料等			
◆水戸市都市景観形成補助金事業対象範囲 ○備前堀沿道地区   <p style="text-align: right;">(過年度実績)</p>			
○弘道館・水戸城跡周辺地区 			

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	水戸市市街地整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和9年度	
支援事業名	防災・安全交付金(市街地再開発事業, 防災・省エネまちづくり緊急促進事業)	
計画に記載している内容	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確保し, 歴史的な景観に配慮した整備を行うことで, 水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指す。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
再開発組合に対して建築工事の支援を行い, 63.0%の建築工事進捗率(令和7年度末見込)である。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	再開発組合と緊密な連携を図り, 令和9年度の事業完了を目指す。	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
三の丸地区周辺景観整備事業	水戸市市街地整備課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 三の丸地区周辺の電線地中化や道路の拡幅、車道・歩道の再整備と、あわせて沿道周辺の広場の整備などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

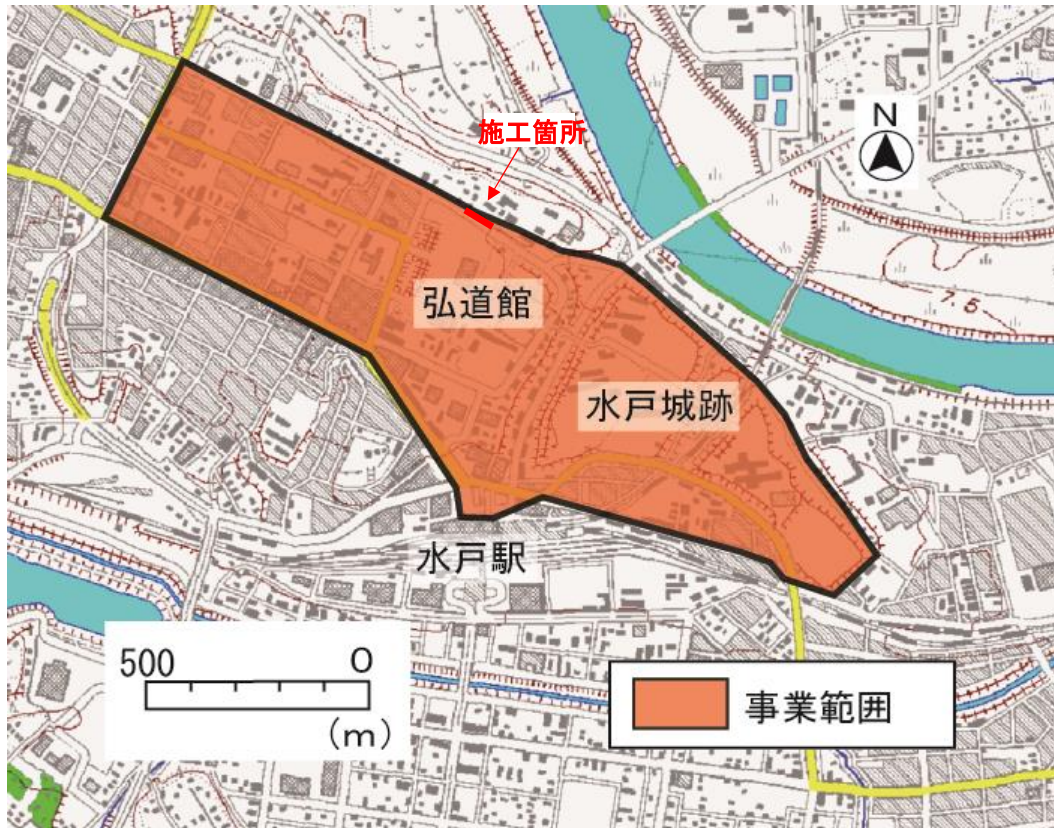
未整備となっていた箇所について、一部の整備を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

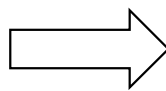
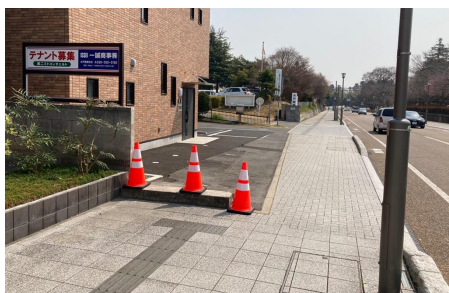
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

第7次総合計画において、道路の回遊ルートや景観コンセプトなどを前期計画で検討したうえで、後期計画での整備路線の位置付けを行う。

状況を示す写真や資料等



施工前



施工後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、下記の活動に対し補助金を交付する。 計画に記載している内容 <ul style="list-style-type: none"> ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 ③大串のささらばやし伝承保存及び後継者育成事業 		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 5団体(大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会)に対し補助金を交付した(交付金額:560千円)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	民俗芸能団体は担い手の減少等の理由により、本事業による補助金は貴重な財源となっている。今後も引き続き助成を継続し、団体の運営を支援することで民俗芸能の保存・活用を図る。	
状況を示す写真や資料等		



大串ささらばやし保存会



大野みろくばやし保存会



向井町散々楽保存会



水戸若鷺会



杖友会(田谷の棒術保存会)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
民俗芸能実演支援事業		水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本市に伝わる民俗芸能を幅広く市民に周知するため、市主催のイベントを中心に、実演の機会を提供している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第34回風土記の丘ふるさとまつりにおいて実演を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き民俗芸能の実演の機会を提供することで、広く伝承・公開するとともに、民俗芸能団体の活動の活性化を図る。	
状況を示す写真や資料等			
第34回風土記の丘ふるさとまつり(令和7年11月9日開催, 会場: 大串貝塚ふれあい公園)			
国選択無形民俗文化財 「大野みろくばやし」			
※国選択無形民俗文化財「大串さらばやし」は、雨天により中止			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
文化財・まちなみ巡り事業		水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本市内や本市ゆかりの場所にある文化財やまちなみを訪問する水戸郷土かるためぐりや史跡めぐりを実施し、本市の歴史や文化などへの理解を深める機会を提供していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①水戸郷土かるためぐり: 令和7年7・8月に市内の小学生親子32組(74名)を対象として、かるたに詠まれる各所を巡る事業を企画した。 ②史跡めぐり: 令和7年10月に79名を対象として、茨城県水戸市及び笠間市の史跡等を巡る事業を企画した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	かるた・史跡めぐりは、応募者多数により抽選で参加者が決定するほどの人気事業になりつつある。引き続き、より市民の興味・関心を引くような行程や内容を検討し、本市の歴史や文化への理解を深める機会を提供する。		
状況を示す写真や資料等			
①令和7年度水戸郷土かるためぐりの様子			
			
大手門		弘道館	
			
博物館			
②令和7年度史跡めぐりの様子			
			
渡満道路		内原訓練所	
			
筑波海軍航空記念館			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
観光周遊バス運行事業	水戸市観光課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 梅まつりなど、花の名所で開催されるイベントに合わせて観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1 主要な季節のイベントに合わせて2行程(計5日間)の観光周遊バスを運行した。乗車人数は推計1,468人
 (1) 観光漫遊バス～水戸のあじさい満喫編～ 乗車人数 709人
 ・期日:令和7年6月14日(土曜日)・15日(日曜日)
 ・ルート:保和苑下→水戸駅南口→弘道館・水戸城大手門→MitoriO(水戸市民会館)→水戸八幡宮前→保和苑下
 (2) 水戸の梅まつり周遊バス 乗車人数 759人
 ア 夜梅シャトルバス
 ・期日:令和8年3月7日(土曜日)
 ・ルート:偕楽園・常磐神社前→水戸駅南口→弘道館・水戸城跡→水戸市民会館横→偕楽園・常磐神社前
 イ 観光周遊バス～梅薫る水戸満喫編～
 ・期日:令和8年3月14日(土曜日)・15日(日曜日)
 ・ルート:偕楽園(千波湖西駐車場)→弘道館・水戸城跡→水戸市民会館横→茨城県立歴史館→偕楽園(千波湖西駐車場)
 2 観光周遊バスを運行し、イベント会場から偕楽園や水戸城跡といった歴史的資源への周遊を促すことにより、市民や観光客に対する歴史的風致の普及啓発に一定の成果を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 従来のボンネットバスでの催行に加え、梅まつりにおいては茨城交通が所有する梅柄のラッピングバス(路線バス)を使用し、多くの方に周遊していただいた。今後は、周遊ルートに体験プログラムを行っている施設を加えるなど民間事業者等と連携することで、さらなる観光客の周遊による観光消費の拡大を図ってまいりたい。

状況を示す写真や資料等



保和苑下を走行する観光漫遊バス



弘道館・水戸城跡を走行する夜梅シャトルバス

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	水戸市観光課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

梅まつり(借楽園周辺)や水戸黄門まつり(東照宮周辺)など、歴史的風致内で実施されるイベントの開催にあたり、補助金を交付し、企画・実施からPRまで幅広い支援を行うことで、市民や観光客の歴史的風致に対する興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる様々な活動への参加を促進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○歴史的風致に関連した祭り等の開催を支援し、多くの観光客が来場した。

(1)水戸のあじさいまつり

・期間:令和7年6月7日(土曜日)~6月29日(日曜日)

・会場:保和苑及び周辺史跡

・来場者:44,000人

・内容:昨年度に開催50回を記念してみとの魅力宣伝部長であるシンガーソングライターの磯山純氏が制作した水戸のあじさいまつりテーマソングを活用し、あじさいまつりの認知度向上と誘客促進を図った。また、周辺の学校が多い地域特性をいかし、地元和菓子店とのコラボスイーツの開発・販売をはじめ、司会進行やステージへ出演等、多くの学生の参画を通して、歴史的風致の若い世代への普及・啓発につなげた。

(2)水戸黄門まつり

①水戸借楽園花火大会 ②本祭

・期間:①令和7年7月26日(土曜日) ②令和7年8月2日(土曜日)・3日(日曜日)

・会場:①千波湖 ②国道50号(水戸駅北口~大工町交差点)

・来場者①193,000人 ②144,000人(2日間計) 合計337,000人

・内容:

①内閣総理大臣賞21回受賞(当時)の花火師「野村花火工業」による花火の打ち上げを行った。

②東照宮の山車が参加する山車巡行をはじめ、水戸市の伝統工芸品である水府提灯を活用した水戸黄門提灯行列、神輿連合渡御等を実施するなど、市民や観光客に対する本市の歴史的風致の普及・啓発を図った。

(3)水戸の梅まつり

・期間:令和8年2月11日(水曜日・祝日)~3月22日(日曜日)

・会場:借楽園・弘道館

・来場者:320,000人

・内容:借楽園においては、恒例行事に加え「陰と陽」の世界感を体感できるライトアップイベント「借楽園UME The Lights2026」を開催し、更なる誘客促進を図った。また、弘道館においては、水戸東武館による武道演武や、公開講座などのほか、「夜・梅・祭2026~水戸城~」として、会場内の歴史的建造物等を活用したライトアップやプロジェクションマッピング等を行うなど、若い世代への興味・関心にも繋がる取組も行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今年度は、令和7年初開催し、好評を博した水戸の梅まつりのライトアップイベント「借楽園UME The Lights」の日数や内容を拡充して開催し、若者を中心に本市の歴史的風致の普及・啓発を図った。 今後は、各まつりの更なる周知を図り、本市の歴史や文化への興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上に繋がる取組を行う。 状況を示す写真や資料等



山車巡行の様子
(第65回水戸黄門まつり)



借楽園UME The Lights2026の様子
(第130回記念水戸の梅まつり)

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
歴史的風致情報発信推進事業	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市広報誌やSNSを活用した文化財や関連行事に関する情報発信、さらには文化遺産説明板の設置を行い、市民の歴史・文化に対する理解を深めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①市広報誌: イベント&講座情報「吉田神社秋季祭礼」「有賀神社の磯渡御」ほか
- ②市公式LINE: 「史跡めぐり」参加者募集ほか
- ③市立博物館公式X(旧ツイッター): 特別展「夜のいきもの展」関連記事ほか
- ④文化遺産説明板設置及び補修: 5件(水戸の座敷舞、親鸞聖人御田植の伝承地、先賢志士指導標柱、台渡里官衙遺跡群、大手門)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

SNSを活用した情報発信は発信力・発信スピード等に優れた面があるため、今後も広報部門や観光部門と情報共有を図りながら、歴史的風致に関わるイベント等の情報発信を戦略的に進めていく。

状況を示す写真や資料等

ID 0002586

吉田神社秋季祭礼
 例大祭と夜祭、神輿渡御を3日間
 にわたり行います。今年は約200
 年ぶりに「濱降祭」も斎行します。



日 10/24(金)~26(日)
場 吉田神社ほか
問 同神社(☎247-6464)または歴史文化財課(☎306-8132)

ID 0005681

有賀神社の磯渡御
 有賀神社から大洗磯前神社に渡御
 する市指定無形民俗文化財「有賀
 神社の磯渡御」が行われます。



日 11/11(火) 6:30~17:30
問 有賀神社社務所(☎259-7416)または歴史文化財課(☎306-8132)

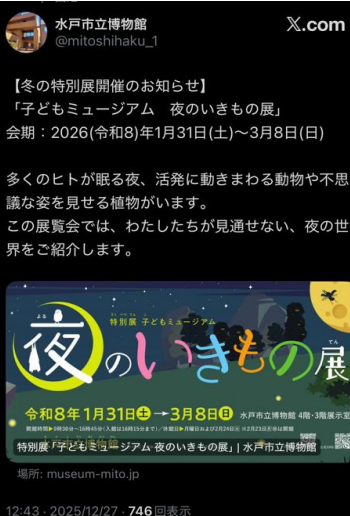


水戸市役所
 2025年9月11日(木)

令和7年度
史跡めぐり
 ~若狭甲と海軍航空隊の史跡をめぐるウォーキング&バスツアー~

①市広報誌「広報みと」令和7年10月号及び11月号 イベント&講座情報

②市公式LINE「史跡めぐり」参加者募集



水戸市立博物館 @mitoshihaku_1 X.com

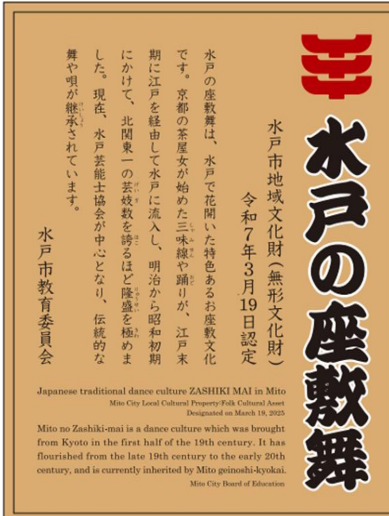
【冬の特別展開催のお知らせ】
 「子どもミュージアム 夜のいきもの展」
 会期: 2026(令和8)年1月31日(土)~3月8日(日)

多くのヒトが眠る夜、活発に動きまわる動物や不思議な姿を見せる植物がいます。この展覧会では、わたしたちが見逃せない、夜の世界をご紹介します。

特別展「子どもミュージアム 夜のいきもの展」
 令和8年1月31日(土) → 3月8日(日) 水戸市立博物館 4階・3階展示室
 特別展「子どもミュージアム 夜のいきもの展」| 水戸市立博物館
 場所: museum-mito.jp

12:43 · 2025/12/27 · 746 回表示

③市立博物館公式X(旧ツイッター) 特別展「夜のいきもの展」関連記事



水戸市地域文化財(無形文化財)
 令和7年3月19日認定

水戸の座敷舞は、水戸で花開いた特色あるお座敷文化です。京都の茶屋女が始めた三味線や踊りが、江戸末期に江戸を経由して水戸に流入し、明治から昭和初期にかけて、北関東一の芸・舞・技を誇るほど隆盛を極めました。現在、水戸芸能士協会が中心となり、伝統的な舞や唄が継承されています。

水戸市教育委員会

Japanese traditional dance culture ZASHIKI MAI in Mito
 Mito no Zashiki-mai is a dance culture which was brought from Kyoto in the first half of the 19th century. It has flourished from the late 19th century to the early 20th century, and is currently inherited by Mito geinoshi-kyokai.
 Mito City Board of Education

④水戸市地域文化財 水戸の座敷舞 文化遺産説明板

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	担当	現在の状況
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進	水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
①市指定天然記念物ヒカリモの調査(16回) ②市指定文化財候補調査(3件) ③地域文化財認定候補調査(3件) ④水戸市文化財保存活用地域計画協議会(1回)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、積極的に文化財の調査・把握を行い、文化財の保存を推進する。	

状況を示す写真や資料等

②水戸市新指定文化財(2件) 令和8年2月10日指定



妙徳寺棟札



旧小生瀬宝泉寺厨子扉及び収納箱



③水戸市新認定地域文化財(4件) 令和8年3月31日認定



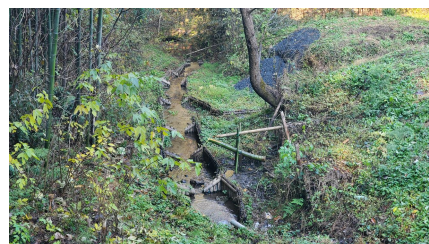
江川観音堂絵馬



軍民坂湧水



大井三寒泉



渡里湧水群

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
文化財の修理、整備、防災事業の推進		水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】防災体制、設備の整備を図るとともに、防災訓練や啓発事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【文化財の修理事業】 ①水戸城土塁(法面)整備事業について 水戸城土塁(法面)については、土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域に指定されている部分があるなど、急傾斜地の崩壊の危険性がある。そこで、急傾斜地崩壊対策及び歴史的景観の向上のため、水戸城土塁(法面)の整備を進めており、令和7年度は、整備に伴う除草及び樹木伐採並びに地形測量を行った。			
【文化財の防災事業】 ①文化財防火デーの企画(令和8年1月27日、場所:茨城大学教育学部附属小学校・水戸城二の丸角櫓) 二の丸角櫓に隣接する茨城大学教育学部附属小学校の児童に対して、文化財愛護と防災意識の高揚を図るため、「水戸城二の丸角櫓」からの出火を想定した防災訓練を企画した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	全国的に大規模な自然災害が頻発する中、文化財防災の対応が重要になってきている。今後も文化財防火デーをはじめとする、文化財を災害から守る備えとともに、有事の際に即応できる体制の整備に向けて、検討を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
【水戸城土塁(法面)整備事業】			
			
樹木伐採の様子			
【文化財防火デー】			
			
講義の様子			
			
消防車からの放水			

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和7年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進		水戸市歴史文化財課	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【令和7年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】			
①令和7年4月1日～13日、8月1日～15日、9月23日、10月15日～24日、10月25日～31日、11月1日～7日、11月19日～25日、12月8日～14日、12月23日～令和8年1月12日、3月21日～4月5日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔			
②令和7年4月23日、6月9日・28日、7月9日・26日・31日、8月6日・7日、9月26日、10月23日・24日、11月5日・7日・12日・18日・21日・25日・28日、12月6日・11日・18日、令和8年1月13日・16日・30日、3月6日 水戸城現地見学 参加者:820人			
③令和7年6月28日、7月26日、9月26日、10月23日・24日、11月7日・12日・18日、12月6日・11日・18日、令和8年1月13日、3月6日 いきいき出前講座			
④令和7年5月3日 水戸城大手門2階特別公開(水戸まちなかフェスティバル2025と同時開催) 来場者:559人			
⑤令和7年7月19日～8月24日 企画展 戦後80年事業「いま、戦争を語るということ」 場所:博物館 来場者:1,970人			
⑥令和7年7月31日、8月7日 水戸郷土かるためぐり 参加者:74人			
⑦令和7年8月1日～10月26日 戦後80年企画展「弓指寛治 不成者:現代アートが描く義勇軍」 場所:内原郷土史義勇軍資料館 来場者:2,647人			
⑧令和7年9月27日～12月28日 「かめとこしきとおきかまど」 場所:埋蔵文化財センター 来場者:1,752人			
⑨令和7年10月2日・16日 史跡めぐり 参加者:79人			
⑩令和7年10月4日、令和8年2月21日 近世日本の教育遺産群サポーター学習会 参加者:19人			
⑪令和7年10月25日～11月30日 特別展「洋服と和服の100年」 場所:博物館 来場者:2,280人			
⑫令和7年11月9日 第34回風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来場者:2,520人			
⑬令和7年12月6日、令和8年1月18日 みと歴史講座 場所:茨城県立図書館 参加者:165人			
⑭令和8年1月27日 文化財防火デー 講習会及び防災訓練 場所:茨城大学教育学部附属小学校・水戸城二の丸角櫓 参加者:約120人			
⑮令和8年3月7日 夜・梅・祭2026 場所:弘道館、水戸城大手門、二の丸角櫓ほか 来場者:4,100人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和7年度は、様々なイベントに合わせて大手門公開事業を実施し、それに合わせて弘道館乾拓体験など学びの場を提供し、文化財の多様な魅力を発信できた。今後もマンネリ化しないよう魅力的な普及・啓発事業を企画立案し、文化財の普及・啓発に努める。		
状況を示す写真や資料等			
			
③いきいき出前講座	⑤戦後80年事業 「いま、戦争を語るということ」	⑦戦後80年企画展 「弓指寛治 不成者:現代アートが描く義勇軍」	
			
⑧「かめとこしきとおきかまど」	⑩近世日本の教育遺産群 サポーター学習会	⑮夜・梅・祭2026 (水戸城大手門前)	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和7年度 掲載紙等
茨城「水戸の座敷舞」地域文化財に	令和7年4月2日・5月1日	NHK
コウノトリ、水戸で誕生	令和7年4月13日・26日・5月3日	茨城新聞・よみうりタウン・東京新聞
水戸の梅まつり 来場者24万3600人	令和7年4月26日・5月1日	茨城新聞・朝日新聞・読売新聞
デゴイチ親しんで	令和7年5月3日	茨城新聞
茨城80年前の「水戸空襲」体験の男性 中学生に平和語る	令和7年5月20日・6月11日・13日	NHK・茨城新聞・毎日新聞
建物「水戸黒モチーフ」「千波公園」起工式	令和7年5月28日	よみうりタウン・茨城新聞・朝日新聞・読売新聞
光圀ゆかりの神社の時鐘(水戸東照宮)	令和7年5月30日・6月8日・8月23日	読売新聞・茨城新聞
あじさい七変化 保和苑で見頃	令和7年6月15日	朝日新聞
おはやしと神輿 心躍る(水戸黄門まつり)	令和7年6月25日・26日	茨城新聞
教育遺産群知って 水戸と県外3市 万博出展	令和7年7月1日・5日・11日	茨城新聞
満蒙開拓軍の実像描く 水戸で展覧会(内原郷土史義勇軍資料館)	令和7年7月12日・8月15日・22日・28日・29日・9月4日・10月17日	茨城新聞・NHK・読売新聞・毎日新聞・東京新聞・よみうりタウン
水戸空襲 弘道館で学ぶ	令和7年8月3日	読売新聞
「いま、戦争を語るということ」水戸空襲展覧会(市博物館)	令和7年8月7日・22日	よみうりタウン・茨城新聞
住民ら盆踊り楽しむ(台渡里官衙遺跡)	令和7年8月22日	茨城新聞
水戸城の歴史や魅力 ガイド本に	令和7年8月30日	朝日新聞
途絶えた神事 復活へ「浜降祭」(吉田神社)	令和7年9月3日・4日	茨城新聞・よみうりタウン
秋告げる 萩まつり(借樂園)	令和7年9月10日・14日・18日・19日	茨城新聞・読売新聞・朝日新聞
戦争史跡巡るツアー 満蒙開拓や特攻訓練(史跡めぐり)	令和7年10月3日	茨城新聞
第70回日本泳法大会(水府流)	令和7年10月7日	茨城新聞
幕末の殉難志士を慰霊	令和7年10月22日	茨城新聞
「水戸の座敷舞」地域文化財認定 特別公演	令和7年11月4日・16日・17日・23日	毎日新聞・朝日新聞・茨城新聞
水戸城復元と景観まちづくり	令和7年11月6日	よみうりタウンニュース
秋の名所 もみじ谷(借樂園)	令和7年11月20日・24日	よみうりタウンニュース・NHK
藩士のため光圀が創設(常磐共有墓地)	令和7年11月21日	読売新聞
磯渡御、子どもの健康祈願(有賀神社)	令和7年11月26日	茨城新聞
世界遺産登録へ文化財保存活用 水戸市の計画 国が認定	令和7年12月20日	茨城新聞

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和7年度
	年月日	掲載紙等
県文化財 新たに3件	令和7年12月26日	茨城新聞
貴重な建物 絵はがきに(水戸水道低区配水塔,薬医門)	令和7年12月29日	茨城新聞
「水府提灯」魅力親しむ	令和8年1月26日・29日	茨城新聞
文化財保存「地域と対話」 御船祭の事例紹介	令和8年2月5日	茨城新聞
東大所蔵の史料80点 (県立歴史館企画展)	令和8年2月7日	茨城新聞
市文化財に指定 「水戸」記した最古棟札	令和8年2月11日	茨城新聞
水戸の梅まつり開幕	令和8年2月11日・14日	茨城新聞・東京新聞・産経新聞
気迫満点「田谷の棒術」	令和8年2月16日	読売新聞
水戸・弘道館が「正門」開放	令和8年2月26日	よみうりタウン

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	新聞・テレビ等のメディアによる報道は例年以上に多かった。近年はYouTubeやネットニュース等、報道の多様化が進む一方、依然として新聞・テレビ等の発信力は市内においては高い。そのため、引き続き記者クラブ等を活用し、メディアへの情報提供に努める。

状況を示す写真や資料等



茨城新聞
『「水戸」記した最古棟札
市指定文化財に指定
厨子扉と収納箱も』
令和8年2月11日付
※転載許可済

評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目

水戸市への観光客数の推移

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少していた本市の観光入込客数は、令和3年からは増加傾向をたどっているが、未だコロナ前の水準までは戻っていないのが現状である。
本市の歴史的風致を構成する代表的な歴史的資産である「弘道館・水戸城跡周辺地区」において、二の丸展示館の入館者数は年々増加傾向であったが、令和7年度は前年比の88%にとどまった。月別では、特に4・5月や9月等の年の前半の来館者数が前年と比べると少ない傾向であった。理由は判然としないため、今後も入館者数の推移を注視していく必要がある。復元した水戸城歴史的建造物を活用する取組や弘道館と二の丸展示館との連携は積極的に行われおり、地区全体での活用の取組が図れている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

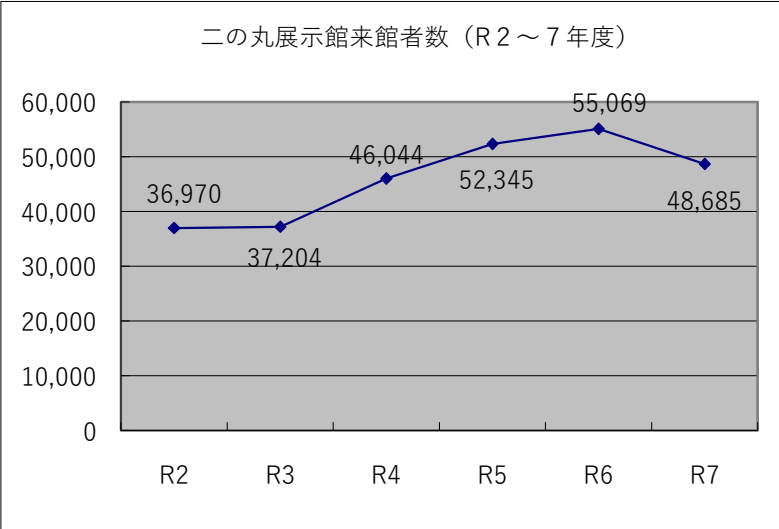
計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

弘道館・水戸城跡周辺地区に関連する各機関が観光マインドを共有できるよう連携を強化し、引き続き産学官及び市民協働による取組を進めていく。

状況を示す写真や資料等



※茨城県「令和6年観光客動態調査」を基に作成



評価対象年度 令和7年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 令和8年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 令和8年5月21日(木) 午後1時30分～午後3時00分
(会場: 水戸市役所3階 教育委員会室)

(コメントの概要)

1. 進行管理・評価シートについて

○千波公園整備事業について(6頁)

ハード面の整備だけでなく、ソフト面においても子どもたちが地域の歴史を学ぶことができるような工夫がなされると良い。

また、近世期の絵図等で確認できる歴史的景観を復元する努力をしていただきたい。

○水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業(8頁)

水戸駅から弘道館をつなぐアクセスルートについて、外国人観光客でも分かりやすいような工夫に努めていただきたい。

○水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業(10頁)

民俗芸能を継承していくため、仮に後継者が途切れてしまった場合においても復活させることができるよう、将来的に内部の記録作成もできると良い。

○歴史的風致情報発信推進事業(15頁)

文化財のHPIについて、専門用語が多く、外国語でうまく翻訳されないように感じた。



(上)協議会当日の様子

(今後の対応方針)

・本市ならではの歴史と風格の感じられるまちづくりを目指して、県や関係機関との連携を密にし、計画内事業を推進していく。